

# マルチリンガル教育センターアニュアルレポート2021

## (1) 全学共通教育マルチリンガル教育科目実施状況

○第2外国語 第1希望者数と決定者数					
学部グループ	第2外国語	定員	開講クラス数	第1希望者数	決定者数
文学部 人間科学部	ドイツ語	100	2	66	66
	フランス語	100	3	79	79
	ロシア語	50	1	10	10
	中国語(文)	50	1	35	35
	中国語(人)	50	1	36	36
	朝鮮語	50	1	16	16
	スペイン語(文)	50	1	20	20
	スペイン語(人)	50	1	25	25
	イタリア語(文)	50	1	14	14
	日本語	20	1	1	1
法学部 経済学部	ドイツ語	200	4	114	114
	フランス語	200	4	164	164
	ロシア語	50	1	18	18
	中国語	200	4	174	174
	日本語	20	1	6	6
医学部 歯学部 薬学部	ドイツ語	350	7	229	229
	フランス語	100	2	76	76
	ロシア語	50	1	10	10
	中国語	100	2	81	81
	日本語	20	1	0	0
理学部	ドイツ語(理・基)	450	9	244	260
	フランス語	100	2	75	75
	ロシア語	50	1	16	16
	中国語	100	2	67	67
	日本語	20	1	1	1
基礎工学部	フランス語	150	3	112	118
	ロシア語	50	1	14	17
	中国語	150	3	175	150
	日本語	20	1	3	3
工学部 (然・地・環)	ドイツ語	250	5	166	201
	フランス語	150	3	102	110
	ロシア語	50	1	9	11
	中国語	100	2	145	100
	日本語	20	1	0	0
工学部 (理・電)	ドイツ語	250	5	168	200
	フランス語	150	2	101	113
	ロシア語	50	1	5	8
	中国語	100	2	147	100
	日本語	20	1	3	3
全体	ドイツ語	1,600	32	987	1,070
	フランス語	950	19	709	735
	ロシア語	350	7	82	90
	中国語	850	17	860	743
	朝鮮語	50	1	16	16
	スペイン語	100	2	45	45
	イタリア語	50	1	14	14
	日本語	140	7	14	14

◎学年別、学部(学部群)別に開講されている授業								
配当 年次	科目 区分	科目名	春～夏学期			秋～冬学期		
			開講 クラス数	受講者数	クラス 平均人数	開講 クラス数	受講者数	クラス 平均人数
1 年次	第 1 外 国 語	総合英語(Project-based English)	10	258	25.8	15	389	25.9
		総合英語(Content-based English)	24	785	32.7	20	705	35.3
		総合英語(Liberal Arts & Sciences)	81	3420	42.2	71	3,108	43.8
		総合英語(Performance Workshop)	34	948	27.9	46	1,215	26.4
		総合英語(Academic Skills)	15	420	28.0	12	341	28.4
		総合英語(integrated course)Ⅰ・Ⅲ・Ⅱ・Ⅳ	32	1225	38.3	32	1,253	39.2
		合計	196	7,056	36.0	196	7,011	35.8
	第 2 外 国 語	ドイツ語初級Ⅰ・Ⅱ	32	1102	34.4	32	1,090	34.1
		フランス語初級Ⅰ・Ⅱ	19	751	39.5	20	784	39.2
		ロシア語初級Ⅰ・Ⅱ	7	91	13.0	8	92	11.5
		中国語初級Ⅰ・Ⅱ	17	763	44.9	18	804	44.7
		朝鮮語初級Ⅰ・Ⅱ	1	18	18.0	1	18	18.0
		スペイン語初級Ⅰ・Ⅱ	2	51	25.5	2	48	24.0
		イタリア語初級Ⅰ・Ⅱ	1	14	14.0	1	18	18.0
	合計	79	2,790	35.3	82	2,854	34.8	
	選 択 外 国 語	英語選択	5	146	29.2	5	164	32.8
		ドイツ語初級Ⅰ・Ⅱ選択	2	46	23.0	2	43	21.5
		フランス語初級Ⅰ・Ⅱ選択	1	44	44.0	1	40	40.0
		ロシア語初級Ⅰ・Ⅱ選択	1	7	7.0	1	7	7.0
		中国語初級Ⅰ・Ⅱ選択	1	44	44.0	1	38	38.0
		ラテン語初級Ⅰ・Ⅱ選択	1	24	24.0	1	19	19.0
		ギリシャ語初級Ⅰ・Ⅱ選択	1	13	13.0	1	4	4.0
	合計	12	324	27.0	12	315	26.3	
	グ ロ ー バ ル 理 解	国際コミュニケーション演習(ドイツ語)	6	204	34.0	6	206	34.3
		地域言語文化演習(ドイツ語)	25	874	35.0	20	644	32.2
		国際コミュニケーション演習(フランス語)	18	760	42.2	14	569	40.6
		地域言語文化演習(フランス語)	-	0	-	-	-	-
		国際コミュニケーション演習(ロシア語)	3	63	21.0	3	30	10.0
		地域言語文化演習(ロシア語)	2	32	16.0	2	31	15.5
		国際コミュニケーション演習(中国語)	17	802	47.2	12	571	47.6
国際コミュニケーション演習(朝鮮語)		1	16	16.0	1	16	16.0	
国際コミュニケーション演習(スペイン語)		2	48	24.0	-	-	-	
地域言語文化演習(スペイン語)		-	0	-	2	46	23.0	
国際コミュニケーション演習(イタリア語)		1	14	14.0	-	-	-	
地域言語文化演習(イタリア語)		-	0	-	1	13	13.0	
合計	75	2,813	37.5	61	2,126	34.9		

配当年次	科目区分	科目名	春～夏学期			秋～冬学期		
			開講 クラス数	受講者数	クラス 平均人数	開講 クラス数	受講者数	クラス 平均人数
2 年 次	第 1 外 国 語	総合英語(Project-based English)	10	274	27.4	4	108	27.0
		総合英語(Content-based English)	5	186	37.2	4	134	33.5
		総合英語(Liberal Arts & Sciences)	49	2088	42.6	37	1,549	41.9
		総合英語(Performance Workshop)	24	684	28.5	13	366	28.2
		総合英語(Academic Skills)	9	259	28.8	8	227	28.4
		合計	97	3,491	36.0	66	2,384	36.1
	第 2 外 国 語	ドイツ語中級	37	1222	33.0	6	177	29.5
		フランス語中級	21	738	35.1	7	204	29.1
		ロシア語中級	7	154	22.0	3	80	26.7
		中国語中級	18	829	46.1	4	219	54.8
		朝鮮語中級	2	20	10.0	1	6	6.0
		スペイン語中級	3	60	20.0	1	21	21.0
		イタリア語中級	1	13	13.0	1	13	13.0
	合計	89	3,036	34.1	23	720	31.3	
	選 択 外 国 語	英語選択	5	172	34.4	3	87	29.0
		ドイツ語中級選択	1	54	54.0	1	27	27.0
		フランス語中級選択	1	35	35.0	1	22	22.0
		ロシア語中級選択	1	9	9.0	1	4	4.0
		中国語中級選択	1	48	48.0	1	32	32.0
		ラテン語中級III・IV選択	1	10	10.0	1	8	8.0
		ギリシャ語中級III・IV選択	1	5	5.0	1	4	4.0
		合計	11	333	30.3	9	184	20.4
	グ ロ ー バ ル 理 解	国際コミュニケーション演習(ドイツ語)	-	-	-	-	-	-
		地域言語文化演習(ドイツ語)	11	264	24.0	3	61	20.3
		国際コミュニケーション演習(フランス語)	2	48	24.0	4	46	11.5
		地域言語文化演習(フランス語)	2	35	17.5	1	2	2.0
		国際コミュニケーション演習(ロシア語)	1	7	7.0	-	-	-
地域言語文化演習(ロシア語)		1	9	9.0	1	7	7.0	
国際コミュニケーション演習(中国語)		2	100	50.0	1	52	52.0	
地域言語文化演習(中国語)		-	-	-	-	-	-	
地域言語文化演習(朝鮮語)		1	6	6.0	1	6	6.0	
国際コミュニケーション演習(スペイン語)		1	18	18.0	-	-	-	
地域言語文化演習(スペイン語)		-	-	-	1	17	17.0	
国際コミュニケーション演習(イタリア語)		1	12	12.0	-	-	-	
地域言語文化演習(イタリア語)		-	-	-	1	11	11.0	
合計	22	499	22.7	13	202	15.5		
総計			581	20,342	35.0	462	15,796	34.2

◎全学部の学生を対象に開講されている「実践英語（e-learning）」								
配当 年次	科目 区分	科目名	春～夏学期			秋～冬学期		
			開講 クラス数	受講者数	クラス 平均人数	開講 クラス数	受講者数	クラス 平均人数
1 年	第1 語 外国	実践英語（e-learning入門）	1	287	287.0	1	3,531	3531.0
2 年		実践英語（e-learning応用）	1	3404	3404.0	1	270	270.0
◎全学部の学生を対象に開講されている授業								
配当 年次	科目 区分	科目名	春～夏学期			秋～冬学期		
			開講 クラス数	受講者数	クラス 平均人数	開講 クラス数	受講者数	クラス 平均人数
2 年 次	上 級 語 外国	ドイツ語上級	1	6	6.0	1	0	0.0
		フランス語上級	1	2	2.0	1	2	2.0
		ロシア語上級	1	7	7.0	1	5	5.0
		中国語上級	1	21	21.0	1	8	8.0
合計			4	36	9.0	4	15	3.8
配当 年次	科目 群	科目名	開講	受講者数	クラス	開講	受講者数	クラス
			クラス数		平均人数	クラス数		平均人数
指 定 な し	グ ロ ー バ ル 理 解 （ 特 別 外 国 語 演 習 ）	特別外国語演習（広東語）Ⅰ	1	24	24.0	-	-	-
		特別外国語演習（モンゴル語）Ⅰ	1	21	21.0	-	-	-
		特別外国語演習（インドネシア語）Ⅰ	1	9	9.0	-	-	-
		特別外国語演習（ウルドゥー語）Ⅰ	1	3	3.0	-	-	-
		特別外国語演習（トルコ語）Ⅰ	1	10	10.0	-	-	-
		特別外国語演習（スウェーデン語）Ⅰ・Ⅱ	1	17	17.0	1	0	0.0
		特別外国語演習（ポルトガル語）Ⅰ・Ⅱ	1	11	11.0	1	6	6.0
		特別外国語演習（タイ語）Ⅰ	-	-	-	1	33	33.0
		特別外国語演習（ベトナム語）Ⅰ	-	-	-	2	63	31.5
		特別外国語演習（ビルマ語）Ⅰ	-	-	-	1	11	11.0
		特別外国語演習（ヒンディー語）Ⅰ	-	-	-	1	31	31.0
		特別外国語演習（ハンガリー語）Ⅰ	-	-	-	1	16	16.0
		特別外国語演習（デンマーク語）Ⅰ	-	-	-	-	-	-
合計			7	95	13.6	8	160	20.0

## (2) TOEFL ITP 実施状況(一部2022上半期のデータ付き)

### 1. 概要

マルチリンガル教育センターは、「実践英語(e-learning)」科目の期末テストとして TOEFL ITP を用いている。同科目は、原則として 1 年次生および 2 年次生の全員が履修する必修科目であり、TOEFL ITP の受験者も正規生だけで年間 6800 人に達する。

### 2. 2021 年度の実施日程

コロナ禍が続く悪条件の中、2021 年度も TOEFL ITP を以下の日程で実施した：

春～夏学期：

- ・正規日程：6 月 19 日(土)、26 日(土)、27 日(日)
- ・追試：7 月 6 日(火)、8 日(木)
- ・在宅試験(健康上の理由から教室での試験を回避する必要がある学生向け。

TOEFL ITP digital を利用したリモート試験)：

7 月 24 日(土)、25 日(日)、31 日(土)

秋～冬学期：

- ・正規日程：12 月 4 日(土)、5 日(日)、11 日(土)
- ・追試：12 月 14 日(火)、16 日(木)
- ・在宅試験：1 月 23 日(日)

### 3. 成績(全学平均点)

#### 1) 概観

2019 年度、英語新カリキュラムが導入されて以降、「実践英語(e-learning)」の枠組みで行う TOEFL ITP のスコアは微増傾向にある。2021 年度は、春～夏学期に 2020 年度入学の 2 年次生が、秋～冬学期に 2021 年度入学の 1 年次生がそれぞれ受験し、2 年次生の成績が 509.17 点、1 年次生が 505.39 点に達した(「3」データ)に示した表のオレンジ色染めの部分。正規生のみをカウントし、再履修生は含めず。)。これらのスコアは、旧カリキュラム下での成績に比べ 15 点前後の伸びを示している。また、すでに結果が出ている 2022 年度春～夏学期の 2 年次生(2021 年度入学者)の平均スコアは 509.81 であり、過去最高となっている。

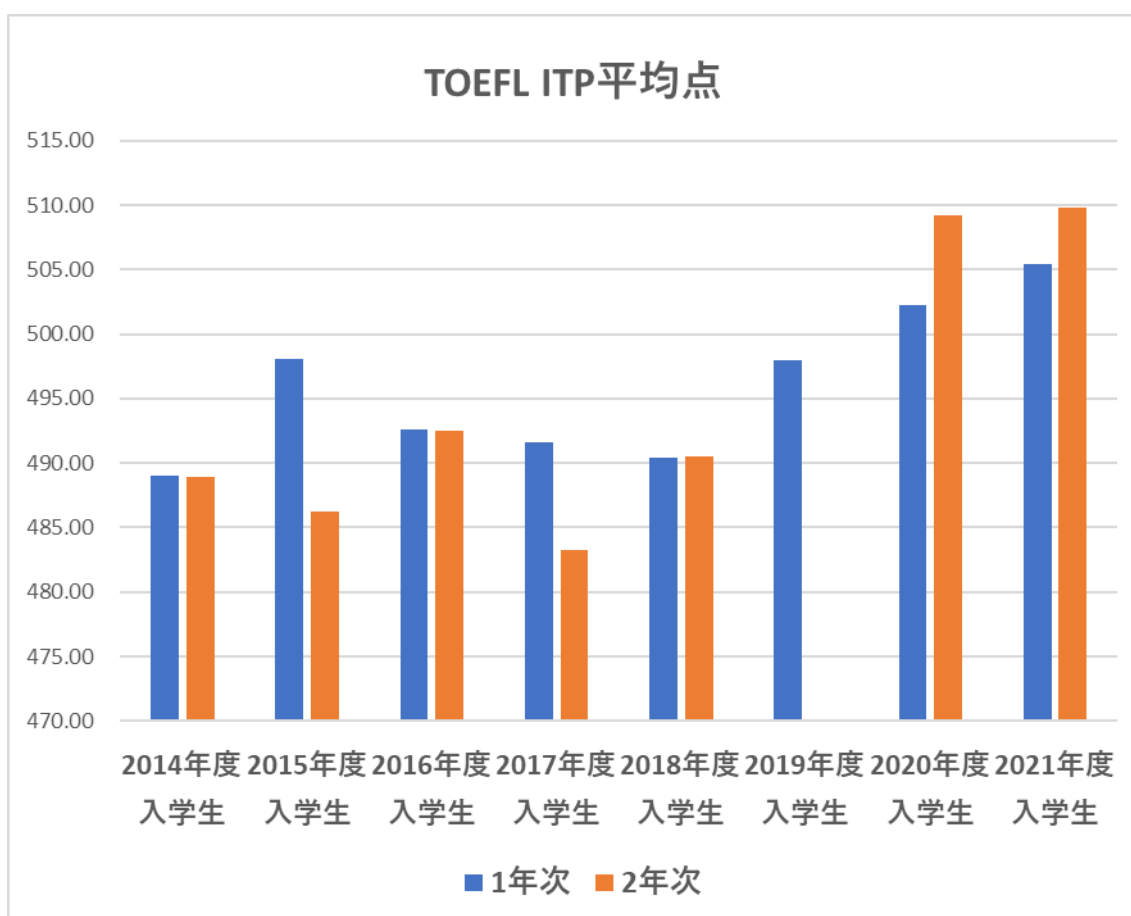
#### 2) 2 年次生の成績

大学生の英語力は、一般に入試直後の 1 年次でもっとも高く、2 年次以降は下がっていく傾向にある。大阪大学も旧カリキュラムの時代まではその傾向をまぬがれていなかった。しかし新カリキュラム導入以降の傾向として、2 年次の TOEFL ITP スコアは 1 年次を上回る。原因は即断できないが、カリキュラム改革が効果を発揮している証拠であるかもしれない。

3) データ

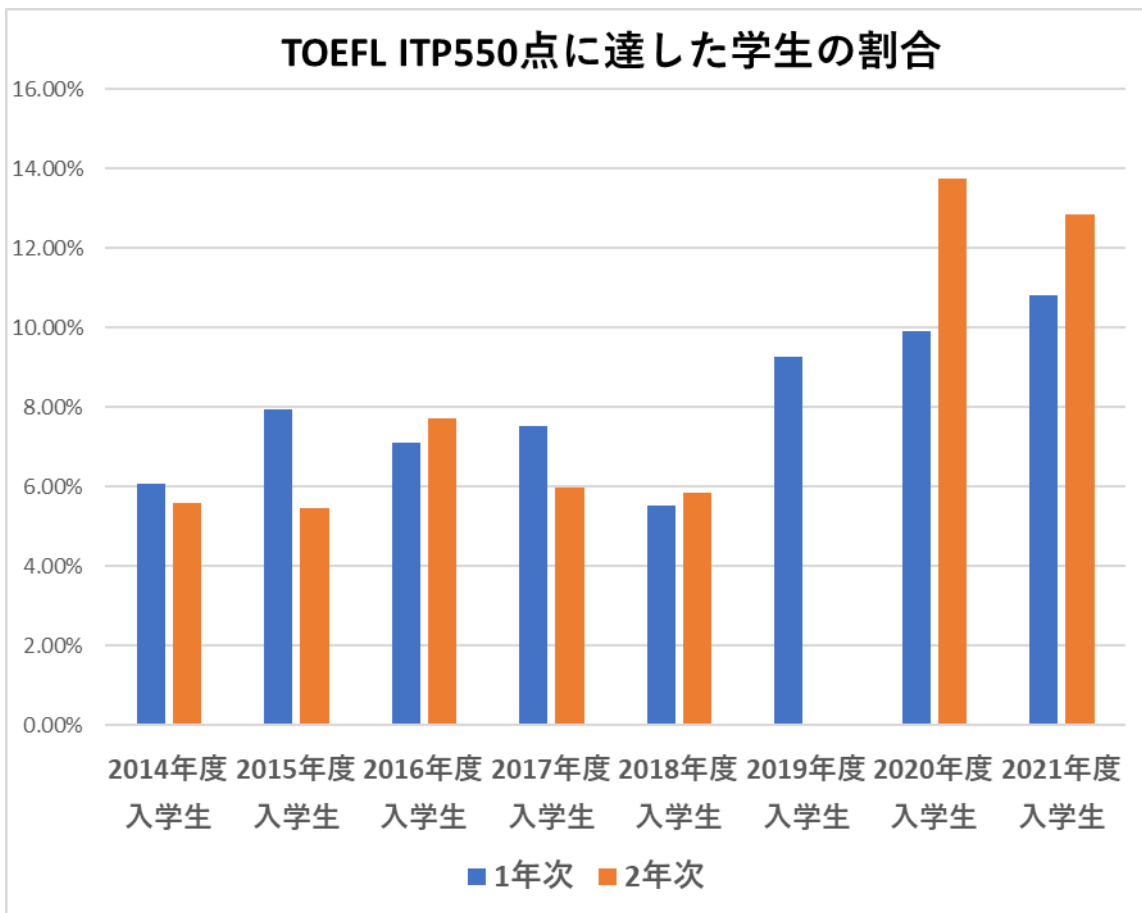
・平均点

TOEFL ITP平均点								
	2014年度 入学生	2015年度 入学生	2016年度 入学生	2017年度 入学生	2018年度 入学生	2019年度 入学生	2020年度 入学生	2021年度 入学生
1年次	489.02	498.03	492.62	491.57	490.37	497.94	502.26	505.39
2年次	488.87	486.20	492.50	483.25	490.55	コロナ禍のため 実施せず	509.17	509.81



・TOEFL ITP550 点に達した学生の割合

TOEFL ITP550点に達した学生の割合（達成した学生数/当該学年在籍者数）								
	2014年度 入学生	2015年度 入学生	2016年度 入学生	2017年度 入学生	2018年度 入学生	2019年度 入学生	2020年度 入学生	2021年度 入学生
1年次	6.06%	7.95%	7.11%	7.52%	5.53%	9.27%	9.91%	10.81%
2年次	5.58%	5.47%	7.72%	5.97%	5.84%	コロナ禍の ため実施せ	13.76%	12.84%



### (3) 理工系専門英語教材開発の進捗状況

#### 1. 教材作成の準備

ESAP 教材開発チームでは、ニーズ分析などに基づき、2 年次総合英語授業で副教材として利用できる ESAP 語彙教材の開発を進めた。

基本的な方針は以下の通りとした。

- ・ 1, 2 年時の英語の授業で使えるもの
- ・ あまり分野に特化すると使いづらいため科学・工学分野の基本語彙中心
- ・ 単語だけではなく、コロケーションも取り上げる
- ・ 単語に関しては書籍などもあるがコロケーションのものは少ない
- ・ 単語を知っていてもどう使うかは意識しないと難しい
- ・ 初年度は、コロケーションの教材を優先

前年度までにニーズ分析に基づいて選定した論文紙でコーパスを作成し、共起頻度・共起強度に基づいて動詞・名詞を中心とした文法関係のあるコロケーションを抽出・選別した。

#### 2. 教材作成

教材作成にあたっては、次の点を重視した。

- ・ コロケーションを暗記させるのではなく、コロケーションという概念を意識づけるもの
- ・ 大阪大学で利用されている CMS である CLE (Blackboard) 上で利用できる形式

#### 3. 春～夏学期－夏休み

2021 年度春夏学期から夏休みにかけて、共起頻度・共起強度に基づいて抽出したコロケーションリストから、実際に教材に含めるコロケーションを選別し、教材を作成した。選別にあたっては、日本語から共起が類推しづらいものを優先的に選ぶように心がけた。

教材は、ESAP 語彙教材の専用 CLE コースサイトを作成し、コロケーションという概念の説明、教材・Quiz、Review Quiz、期末テストを用意した。教材は、3 週 (Unit) で 1 セクションとして、毎週の教材と Quiz (合計 9 回)、セクションごとの Review Quiz (3 回)、学期末に期末テストという構成とした。Quiz・期末テストは、例文にコロケーションを構成する単語を穴埋めで入力するという形式をとった。

教材は、毎回、名詞と動詞を中心としたコロケーションを提示して、論文コーパスから抽出した文を一部改変して日本語訳をつけて例文として提示した。

#### 4. 秋～冬学期

教材作成プロジェクトチームのメンバー 2 名の 2 年次工学部の総合英語の授業で、作成した教材を試用した。この教材は、通常の総合英語の授業に追加する形となるため、受講生の負担軽減が重要なため、Quiz は教材を見ながら行うことを禁止しなかった。



2021 年度秋冬学期は、以下のスケジュールで試行した。

Quiz	Preparation	Quiz opening at 17:00 on:	Quiz closing at 23:30 on:
Quiz 1	Unit 1	13 Oct	19 Oct
Quiz 2	Unit 2	20 Oct	26 Oct
Quiz 3	Unit 3	27 Oct	2 Nov
Review Quiz 1 (Units 1-3)		10 Nov	16 Nov
Quiz 4	Unit 4	17 Nov	23 Nov
Quiz 5	Unit 5	24 Nov	30 Nov
Quiz 6	Unit 6	1 Dec	7 Dec
Review Quiz 2 (Units 4-6)		8 Dec	14 Dec
Quiz 7	Unit 7	15 Dec	21 Dec
Quiz 8	Unit 8	22 Dec	28 Dec
Quiz 9	Unit 9	5 Jan	11 Jan
Review Quiz 3 (Units 7-9)		12 Jan	18 Jan
Test (Units 1-9)		19 Jan	25 Jan

#### 5. 事後アンケート

受講生のコメントは概ね公表で、受講する学生の傾向が異なる2つのクラスにおいて、似たような好意的なコメントが得られた。コロケーションの重要性を認識したというコメントや、論文からの例文を使用されていたことから課題の意義を見出したというコメントなどがあり、教材作成の意図が汲み取られていたことがわかった。

#### (4)OU マルチリンガルプラザの実施状況

##### 1. 概要

大阪大学では令和元年度から3年度までの概算要求プロジェクト『『キャンパスライフ一貫型』言語教育によるグローバルプレゼンスの確立』に基づき、言語教育体制の整備に取り組んだ。この取り組みは、1)学部・大学院における専門英語教育体制の確立、2)英語発信力の強化、3)日本語学習支援の強化、4)多言語学習支援のための「OU マルチリンガルプラザ」の整備、を行うことにより、国際通用性を備えた人材養成の強化、および、多様な人材と切磋琢磨できる環境の醸成を目指すものであった。概算要求プロジェクトの実施主体はマルチリンガル教育センターであるが、設置・運営にあたっては言語文化研究科、外国語学部、工学研究科、サイバーメディアセンター、国際教育交流センターが協力部局となり連携を図った。

OU マルチリンガルプラザは、令和2年4月に豊中キャンパス・サイバーメディアセンター豊中教育研究棟4階に開室した。令和3年度には、吹田キャンパスICホール2階に分室を開室するため整備を行った。



写真1. OU マルチリンガルプラザ豊中の入口



写真2. 学習スペース



写真3. 独習用図書



写真4. 吹田キャンパス分室の様子

## 2. 令和3年度の運営状況

4月12日(月)から4月15日(木)までは、上記のサイバーメディアセンター4階フリーメディアスペースにて開室したが、新型コロナウイルス感染症の蔓延による緊急事態宣言が発出されたことにより、4月16日(金)より閉室した。それ以降は年度の終了まで、全面的にオンラインにて、会話練習、日本語アドバイジング、日本語チュータリング、各種のイベントを実施した。また、ウェブサイト・Twitter・Instagram・KOAN を用いてイベントの利用者を募集したほか、多言語学習や多文化理解に関する情報を発信した。

提供したサービスは以下の通りである。

- ・25言語の課外の自立的な学びをサポート(独習用の参考図書の閲覧およびウェブサイトやSNSでの独習に役立つオンラインコンテンツの紹介や言語学習関連情報の発信など)
- ・言語学習ポートフォリオの発行、配布
- ・会話練習パートナーとのセッション(英語・日本語・中国語・韓国語 1セッション各20分)
- ・日本語学習アドバイジング
- ・留学生向け日本語チュータリング
- ・ポートフォリオワークショップ
- ・TA/TFの企画・進行による、言語学習および多文化に関するイベントの開催



写真5. オンライン会話練習の様子



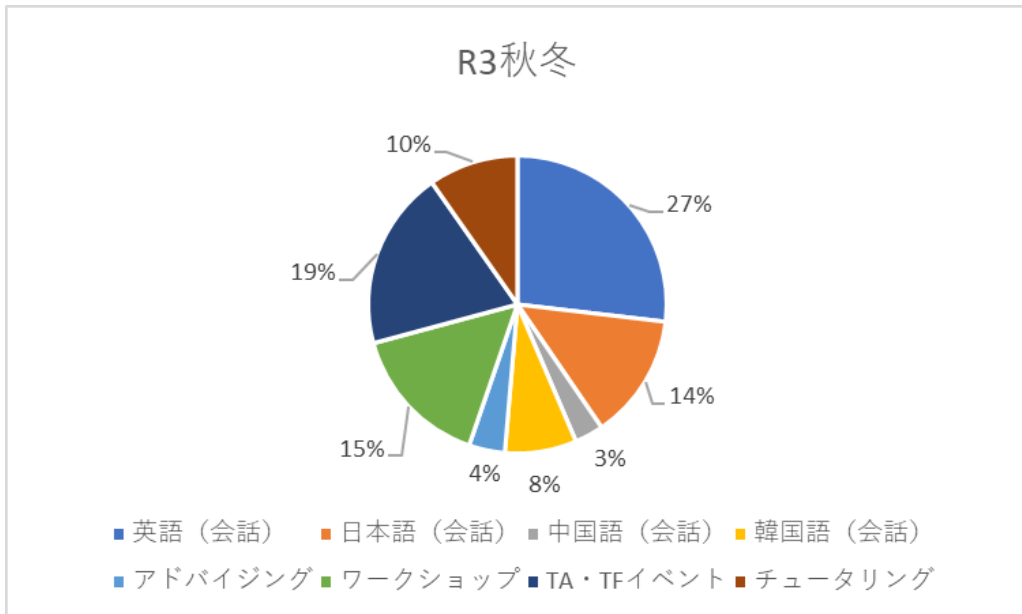
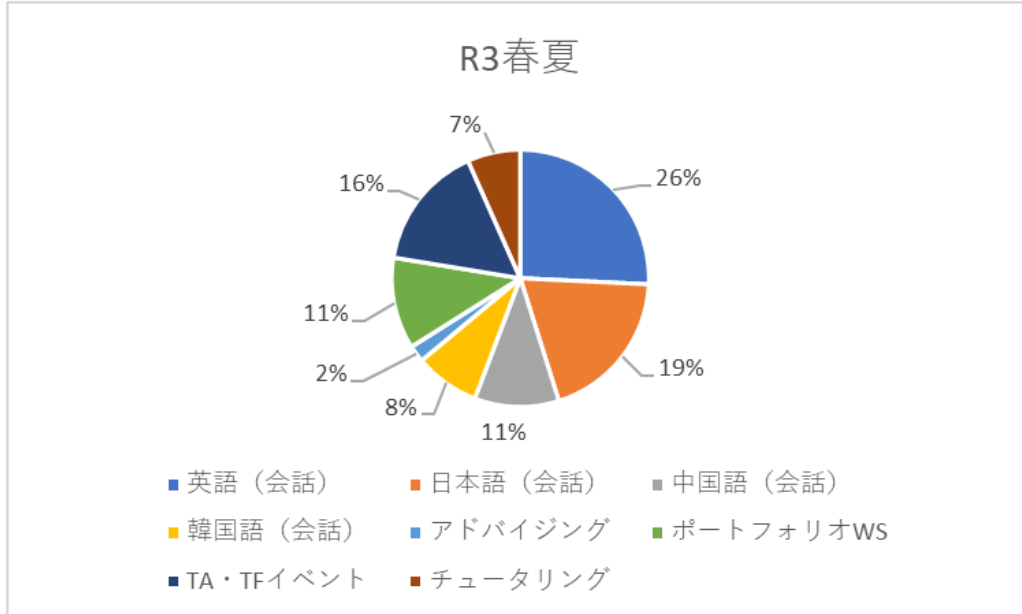
写真6. 大学院生(TA/TF)によるイベント

サービスの利用者数は、延べ587名(春夏学期330名、秋冬学期257名)であった。会話練習(英語・日本語・中国語・韓国語)の利用が半数以上を占めており、中でも英語の利用者が多かった。ワークショップや、大学院生企画であるTA・TFイベントはオンラインにも関わらず積極的な参加がみられた。

また、11月5日(金)と6日(土)には国立大学フェスタの一環として市民向けのサービスをオンラインで提供し、会話練習(英語・韓国語)計5人、多文化イベント11人、言語学習ポートフォリオワークショップ6人の参加者を集めた。

なお、令和3年度のサービス別利用者割合は以下のグラフの通り。

表 1.令和 3 年度のサービス別利用者割合



## (5) 令和3年度大阪大学マルチリンガル教育センター公開講座

### 「英語教育オンラインセミナー」

本公開講座は、特に中学・高校における英語科授業のより良い実践のための知識と方法を提供することを主眼に、中・高の現場での英語教育を担われている先生方と大学教職員とが、これからの英語教育を考える意見交換・接続の場となることを狙いとして開催した。

8回の講座はのべ487名の参加者を得て、この種の企画としては例外的に大きな規模となり、多くの方々に好評をもって迎えられた。新たな変革期を迎えた今日の英語教育について、さまざまな立ち場の教員が共に学ぶ有意義な機会となった。

### 2021年度 公開講座「英語教育オンラインセミナー」

日付	講師	所属	参加人数	講演タイトル
2021年8月6日(金)	新谷奈津子	関西大学教授	63	ライティングにおけるフィードバックのありかた：第二言語習得研究の成果と課題
2021年8月11日(水)	石川慎一郎	神戸大学教授	61	コーパスを用いた英語教育の新しい展開：指導から評価まで
2021年8月18日(水)	巨理陽一	中京大学教授	71	文法指導の文法：機能とやり取りの観点から
2021年8月23日(月)	浦野研	北海学園大学教授	59	タスク・ベースの英語授業：基本的な考え方とデザイン方法
2021年8月28日(土)	水本篤	関西大学教授	51	語彙学習方略の理論と実践
2021年9月18日(土)	小泉利恵	清泉女子大学准教授	49	教室内英語スピーキングテストの適切な採点に向けたガイドライン
2021年9月25日(土)	大和知史	神戸大学教授	46	英語プロソディの指導：統合的な取り組みのために
2021年12月4日(土)	今尾康裕	大阪大学准教授	87	言語知識・言語運用能力を測るとは？

